

## 2 活性化の方針、目標

### 中心市街地の将来の姿

- ◆ 暮らしに便利で、さまざまな人が生き生きと暮らす、住みよいまち  
古い伝統的なものと現代的なものが調和した"まち"に、市民が誇りをもち、みんなが生き生きと暮らしている、"住みよいまち"を目指します。
- ◆ さまざまな人が訪れ、交流し、にぎわうまち  
郊外に住んでいる人や学生、市外や県外の人も訪れ、さまざまな人が交流し、地域独自の文化を創造し全国に発信している、"にぎわいのあるまち"を目指します。

### 5つの基本方針

越前国府1300年の歴史と文化が香る 安らぎのまち、武生

- ① 歩いて暮らせる"まちなか居住"の推進
- ② 多様な主体の活動と交流による"にぎわい"の創出
- ③ 越前の歴史やモノづくりを発信する"まちなか観光"の推進
- ④ 歴史・水・緑を大切に"美しい景観"の形成
- ⑤ 誰もが"訪れやすい"中心市街地の形成

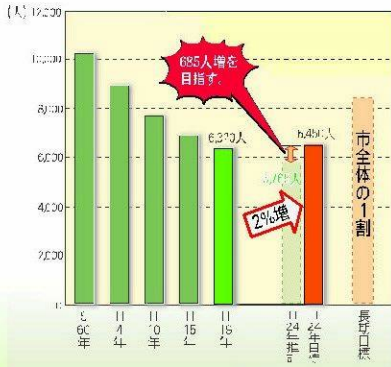
### 今後5年間の目標

今後の5年間を、活性化に向けての足元を固める時期ととらえ、まず「住む人を増やす」ことを最優先に取り組みます。あわせて、「まちなか観光」や「市民活動、イベント」等により「まちを訪れる人を増やす」ことによって商業環境を良くしていきます。

また、美しい景観の形成、公共交通の活性化についても着実に推進していきます。

目標	指標	現況値(H19)	目標値(H24)
住みよく、多様な住まい方が選べる中心市街地	居住者数	6,320人	6,450人
多様な主体の活動と交流による"にぎわう"中心市街地	歩行者通行量(5地点の合計)	林E 994人	林E 1,300人

〔居住者数の現況値と数値目標〕



〔歩行者通行量(休日)の現況値と数値目標〕



## 3 事業計画の概要

平成19年11月～平成25年3月 (5年5ヶ月)

### まちなか観光の推進

- 観光・匠の技 案内所  
伝統工芸品の展示と観光案内を兼ねた案内所を開設。
- まちなか散策ルートの整備  
寺社群や伝統的な建物が残る地区の道路景観整備及び街なみ修景、サイン等を整備。



- まちなか散策ツアー  
歴史や物語のガイド、寺社・まちなか博物館・商店・飲食店等と連携した魅力的な散策ツアーを実施。

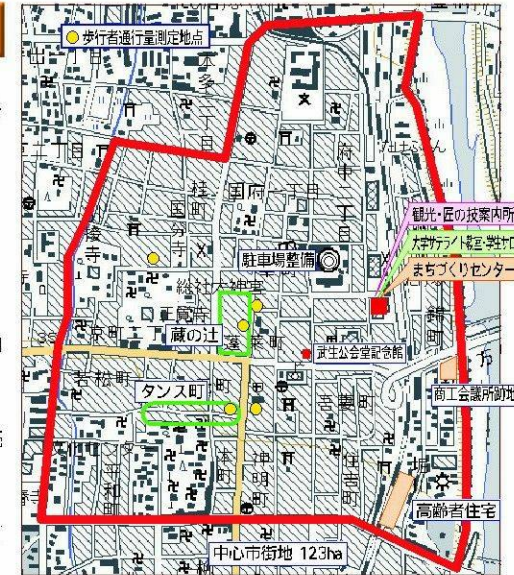


(に愛大学生による「ぶらりツアー」)

- 観光客向け駐車場  
来街者用の時間制駐車場(観光バス2台、乗用車30台)を確保。

### まちなか居住の推進

- 各種住宅補助制度の創設  
中心市街地限定の住宅整備促進補助制度を創設。  
・民間優良共同住宅整備促進事業  
・高齢者向け優良賃貸住宅供給促進事業  
・住宅用地等購入資金利子補助事業  
・まちなか住宅団地整備費補助事業  
・町家風共同住宅整備促進事業
- まちづくり会社による促進活動  
空き家・空き店舗・空き地の所有者に有効活用策を提案。
- 公有地の住宅建設目的への売却  
市土地開発公社が所有する土地を民間に売却し、住宅供給を促進。
- 空き家・空き店舗等の活用  
市民活動やコミュニティ活動の拠点として空き家・空き店舗等の活用を促進。



### まちなか活動・イベント等の推進

- 「蔵の辻」の活用  
現在、毎月第1日曜日開催されている「蔵の市」を發展させ、すべての日曜日開催することにより近郊の市民が中心市街地に来訪する機会を創出。



- タンス町交流施設「匠の駅」  
職人による、住まいの相談やものづくりが体験できる「匠の駅」を設置。



- 大学サテライト教室・学生サロン  
学生が集う拠点施設を開設し、学生のまちなか活動を促進。